



2016年3月期 報告書

2015年4月1日から2016年3月31日まで

ごあいさつ



当社は2014年10月、外航海運業を営む旧乾汽船と、倉庫業を営むイヌイ倉庫の経営統合により、新たな会社としてスタートしました。

合併後当社は「モノをよく運ぶ」を理念とし、事業のカイゼン、資産ポートフォリオの最適化、新しいロジスティクスプラットフォームの構築に向けた取り組みを推進してまいりました。

各種の取り組みにより、業務や体制の効率化、保有資産の拡大に伴う投資・資金調達の幅の広がりなど一定の効果が現れつつあります。

一方で、当社を取り巻く事業環境は総じて厳しく、特に海運市況の振幅により業績が大きく左右される事業構造への対応が大きな課題となっております。

事業環境変化に強い事業体制を構築し、ステークホルダーの皆様のご期待に応えるよう、挑戦を続けてまいります。

2016年6月

代表取締役社長 乾 康之

当期の概況

当連結会計年度における世界経済は、米国では雇用環境の改善を背景とした個人消費の持ち直し等により、景気回復基調が続く、欧州においても緩やかな回復基調となりました。一方、中国をはじめとした新興国の景気減速が鮮明となり、全体としては力強さに欠ける展開となりました。また、日本経済におきましては、政府、日銀による経済財政政策を背景とした企業業績や雇用環境の改善等により、景気は緩やかな回復基調にありましたが、年明け以降は円高や株価の下落が進展する等、不透明感を強めてまいりました。

このような状況下、当連結会計年度における当社グループの業績におきましては、売上高は20,665百万円、営業損益は3,538百万円の損失、経常損益は4,398百万円の損失、親会社株主に帰属する当期純損益は主に保有船舶等に係る減損損失の計上があり、14,234百万円の損失となりました。

当社グループのセグメント別の業績の概況

■ロジスティクス

外航海運事業

外航海運事業におきましては、ドライバルク船市況は依然として船腹供給過多の状況にあり、さらに中国経済の減速も重なり、2016年2月にバルチック海運指数が過去最低を記録する等、採算を大幅に割り込む最低水準となりました。また、燃料油価格低下のコスト減少要因もありましたが、スポット契約の比重が大きいハンディサイズばら積み船においては、市況との連動性が高いことから、極めて厳しい事業環境が続きました。

このような状況下、当社グループの外航海運事業におきましては、売上高は11,507百万円、セグメント損益は市況の低迷の影響を受け、4,703百万円の損失となりました。

倉庫・運送事業

物流業界におきましては、貨物保管残高は年明け以降、前年同期を下回る水準で推移し、貨物取扱量も前年同期を若干下回る水準で推移いたしました。

このような状況下、当社グループの倉庫・運送事業におきましては、持分法適用関連会社であったイヌイ運送株式会社の連結子会社化により、売上高は前年同期比1,052百万円増

収(+33.7%)の4,178百万円となりました。また、セグメント損益は売却による施設の減少等により前年同期比211百万円減益(△102.6%)の5百万円の損失となりました。

■不動産事業

不動産業界におきましては、都心部の賃貸オフィスビル市況は空室率の低下が続く、賃料水準も小幅な上昇傾向が続いております。また、東京23区の賃貸マンション市況は年明け以降、弱含みが見られるものの概ね前年並みの水準で推移いたしました。

このような状況下、当社グループの不動産事業におきましては、既存賃貸物件の稼働率上昇による収益寄与に伴い、売上高は前年同期比528百万円増収(+11.9%)の4,979百万円、セグメント利益は前年同期比740百万円増益(+51.6%)の2,176百万円となりました。

次期の見通し

今後の見通しにつきましては、中国をはじめとする新興国経済の減速が鮮明となるなか、欧州、中東での政情不安もあり、先行きは不透明な状況にあります。また、日本経済においても、個人消費の伸び悩みや海外経済の下振れリスクが懸念される等、予断を許さない状況にあります。

このような状況の下、外航海運事業では、減損損失計上による減価償却負担の軽減はあるものの、市況低迷の影響は極めて深刻であり、市況の回復には時間を要する見込みです。また、倉庫・運送事業でも貨物取扱量の鈍化や競争の激化等により、引き続き厳しい状況が続く見込みです。一方、不動産事業では、総じて賃貸市場の回復が見られますが、エリア内における競争等もあり、楽観を許さない状況にあります。当社グループは、「これからの乾汽船」(<http://www.inui.co.jp/ir/library/managementplan.html>)で掲げております通り、2017年3月期迄を目途に、市況が悪い時でも安定配当の維持を可能とする事業の基礎構造を構築してまいります。

次期の業績予想につきましては、売上高は18,026百万円、営業損益は2,353百万円の損失、経常損益は2,600百万円の損失、親会社株主に帰属する当期純損益は2,537百万円の損失となる見込みです。

機関投資家向け決算説明会を開催いたしました。

2016年5月27日に、機関投資家向け決算説明会を当社本社会議室にて開催しました。当社代表取締役社長の乾より、決算概要に関するご説明を行い、30名の機関投資家様にご出席をいただきました。

機関投資家向け決算説明会でのご説明の模様(動画)および説明資料は下記の当社コーポレートサイト内、IR(投資家情報)ページにてご確認いただけますので、是非ご覧下さい。

IR(投資家情報) URL：<http://www.inui.co.jp/ir/>

月島荘のご紹介

当社が東京都中央区月島にて運営しております「月島荘」は、複数の企業が利用する、全644室の企業寮の集合体です。業種や職種、国籍、年代の異なる多様なビジネスパーソンが、共に暮らし、お互いを高めあっていく場所を目指す試みに、様々な業種の企業からご賛同を頂き、2016年5月時点でほぼ満室状態での稼働を行っております。



単位：百万円（記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。）

連結貸借対照表(要旨)

科 目	当連結会計年度 2016年3月31日現在
(資産の部)	
流動資産	13,623
固定資産	37,180
有形固定資産	28,470
無形固定資産	295
投資その他の資産	8,415
資産合計	50,804
(負債の部)	
流動負債	8,828
固定負債	21,938
負債合計	30,767
(純資産の部)	
株主資本	18,826
資本金	2,767
資本剰余金	11,625
利益剰余金	5,442
自己株式	△1,009
その他の包括利益累計額	1,210
その他有価証券評価差額金	950
繰延ヘッジ損益	△138
為替換算調整勘定	398
純資産合計	20,036
負債純資産合計	50,804

連結損益計算書(要旨)

科 目	当連結会計年度 2015年4月1日から 2016年3月31日まで
売上高	20,665
売上原価	22,647
売上総損失	△1,981
販売費及び一般管理費	1,556
営業損失	△3,538
営業外収益	259
営業外費用	1,119
経常損失	△4,398
特別利益	2,941
特別損失	14,534
税金等調整前当期純損失	△15,992
法人税、住民税及び事業税	15
法人税等調整額	△1,773
親会社株主に帰属する当期純損失	△14,234

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科 目	当連結会計年度 2015年4月1日から 2016年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△715
投資活動によるキャッシュ・フロー	13,477
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,839
現金及び現金同等物に係る換算差額	117
現金及び現金同等物の増減額	5,039
現金及び現金同等物の期首残高	5,226
現金及び現金同等物の期末残高	10,266

会社概要

会社の概況（2016年3月31日現在）	
資本金	27億6,750万3,820円 (東京証券取引所市場第一部上場)
本社	東京都中央区勝どき一丁目13番6号
従業員数	連結194名、単体78名
主要な事業内容	●外航海運事業 船舶の自社運航による貨物輸送、船舶貸渡業 ●倉庫・運送事業 倉庫、荷役、貨物運送、物流不動産事業の企画、開発、賃貸、仲介並びに建物管理 ●不動産事業 施設賃貸

取締役・監査役（2016年6月22日現在）

代表取締役社長	乾 康 之
取締役	乾 隆 志
取締役	湯 浅 和 夫 ※
取締役	苦 瀬 博 仁 ※
取締役	川 崎 清 隆 ※
常勤監査役	高 橋 幸一郎 ※
監査役	田 中 正 人 ※
監査役	尾 崎 輝 郎 ※

※印は社外取締役及び社外監査役であります。

執行体制（2016年6月22日現在）

社 長	乾 康 之
専務執行役員	乾 隆 志
常務執行役員	朝 原 登 営業担当
執行役員	清 水 光 洋 特命事項担当

グループ構成

- 乾汽船株式会社
〒104-0054 東京都中央区勝どき一丁目13番6号
☎03(5548)8211
外航海運事業、倉庫・運送事業及び不動産事業を行っております。

主な連結子会社

- INUI SHIPPING (SINGAPORE) PTE. LTD.
72 Anson Road #11-01 Anson House
Singapore 079911
☎+65-(6438)0545
船舶の所有、貸渡及び運航事業を行っております。

- DELICA SHIPPING S.A.
Banco Aliado Tower,Ricardo Arias Street, Suite 12-B,
Panama City, Republic of Panama
船舶の所有及び貸渡業を行っております。

- イヌイ運送株式会社
〒135-0062 東京都江東区東雲二丁目1番10号
☎03(3528)1254
主に法人向けの引越業（転勤引越、事務所移転）を行っております。
※2015年7月1日付けで当社の連結子会社となっております。

- イヌイ倉庫オペレーションズ株式会社
〒104-0054 東京都中央区勝どき一丁目13番6号
☎03(5548)6110
倉庫内作業（入出庫作業・在庫管理業務等）及び配送業務を行っております。

株式情報

株式の状況（2016年3月31日現在）

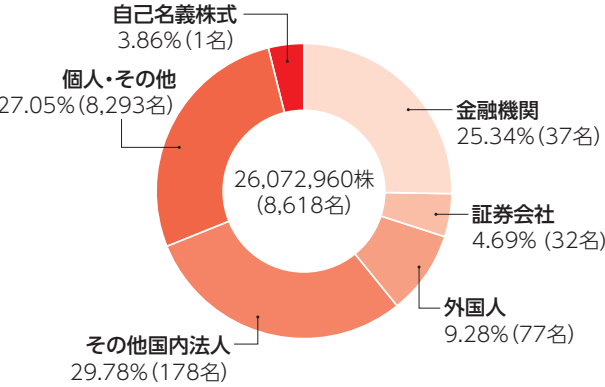
発行可能株式総数	70,000,000株
発行済株式の総数	25,066,698株 (自己株式1,006,262株を除く)
株主数	8,618名

大株主

株主名	持株数	持株比率
東京海上日動火災保険株式会社	1,283,126	5.12%
松岡冷蔵株式会社	992,927	3.96%
アルファレオ1号投資事業有限責任組合	985,700	3.93%
立花証券株式会社	984,300	3.93%
株式会社商船三井	980,252	3.91%
エムエルアイ フォークライアントジェネラル オムノンコラテラルノントリーティービービー	928,405	3.70%
乾 民治	902,607	3.60%
株式会社三井住友銀行	848,000	3.38%
王子ホールディングス株式会社	727,800	2.90%
インタートラスト トラストィーズ ケイマン リミテッド アズ トラスティー オブ ユビキタス ファンドークラス ティー	727,500	2.90%

(注)持株比率は、当社が保有する自己株式(1,006,262株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況

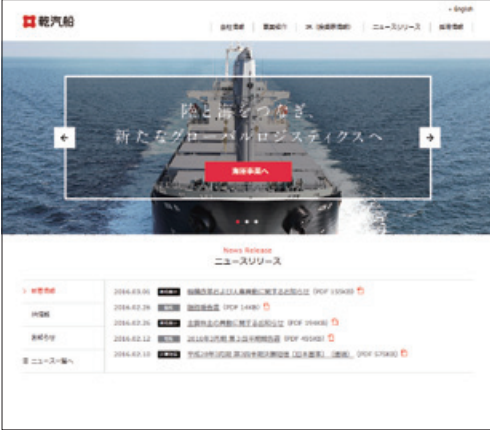


ホームページのご案内

当社ホームページでは、株主の皆様のお役にたてるよう、決算情報をはじめ、決算説明会の模様などの会社情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

<http://www.inui.co.jp/>

Top画面



IR画面



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	6月
基準日	3月31日 その他必要ある場合は、 あらかじめ公告した日
公告方法	当社のホームページに掲載。 (http://www.inui.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由により、当社の ホームページに掲載することができない場合は、 日本経済新聞に掲載。
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

単元未満株式買取・買増請求制度のご案内

当社は、単元株制度を採用しており、1単元は100株です。
単元未満株式(1～99株)は議決権がなく、また証券市場
にて売買することができません。

単元未満株式につきましては、法律及び当社定款・株式
取扱規則の規定に基づき単元未満株式の買取・買増請求
制度をご利用いただけます。

株式に関する各種手続き、問い合わせ先

1.証券口座に株式をご所有の株主様

お取引証券会社にお問い合わせください。

2.特別口座に株式をご所有の株主様

下記の、特別口座管理機関にお問い合わせください。

・旧イヌイ倉庫の株主様

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話0120-288-324(フリーダイヤル)
(土・日・祝日を除く9:00～17:00)

・旧乾汽船の株主様

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話0120-782-031(フリーダイヤル)
(土・日・祝日を除く9:00～17:00)



〒104-0054 東京都中央区勝どき一丁目13番6号 プラザタワー勝どき
TEL: 03(5548)8211(代) <http://www.inui.co.jp/>

